

道 博 協 第 3 8 号
平成26年 7月 18日

北海道博物館協会 学芸職員部会員 様

北海道博物館協会
会長 石森秀三

北海道博物館協会学芸職員部会
部会長 森岡健治
(公印省略)

平成26年度 北海道博物館協会 学芸職員部会総会 及び研修会の開催について

盛夏の候、貴施設におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
日ごろより、当協会並びに学芸職員部会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、例年実施しております当協会学芸職員部会の総会研修会を下記のとおり開催すること
となりました。つきましては、ご多忙のこととは存じますが、多数の参加をご期待しております。

* なお、総会に欠席される部会員におかれましては、別紙参加申込書の委任状の提出をお願い
いたします。

記

1. 開催日 平成26年9月18日(木)・19日(金)
2. 会場 八雲町公民館
3. テーマ 学芸技術研修 ① 歴史分野技術研修
② 展示分野技術研修
【詳細は別添開催要項をご参照ください。】

((お問合せ))

【事務局】

北海道博物館協会学芸職員部会事務局

〒087-0032 根室市花咲港 209

根室市歴史と自然の資料館 猪熊 樹人

☎/FAX 0153-25-3661

Email : inokuma.shigeto@city.nemuro.hokkaido.jp

【主 管】

八雲町郷土資料館

〒049-3112 二海郡八雲町末広町 154 番地

担当：学芸員 大谷 茂之

☎0137 - 63 - 3131 (内線 231) / Fax 0137 - 64 - 3848

E-mail : s-oya@town.yakumo.lg.jp

平成26年度北海道博物館協会学芸職員部会総会・研修会開催要項

1. 趣 旨 近年、情報機器類等が急速な発達を遂げ、一般普及したことに伴い、私たち学芸員自身が日々こうした機材を用いて、博物館活動に導入・応用する機会が増えつつある。また一方で、博物館活動を動的にかつ幅広く展開し、博物館のまちづくりへの貢献が期待される今日では、博物館活動の根幹をなす基本的な技術・素養はもちろんのこと、専門分野以外の基礎・基本を身に付けることも要求されている。
- 本研修会は、博物館活動で求められる基本的技術とそれに基づく応用力を獲得する契機とし、私たち学芸員が互いに学び合いながらスキルアップすることを目的に開催する。
2. 研 修 ①歴史分野技術研修「石器をつくる～たった一つの石器からはじまる総合的な学習～」
②展示分野技術研修「文化財のデジタル記録とその活用」
*参加者はいずれかを選択してください
3. 主 催 北海道博物館協会
4. 主 管 北海道博物館協会学芸職員部会
5. 後 援 八雲町教育委員会、道南ブロック博物館施設等連絡協議会
6. 会 期 平成26年9月18日(木)～19日(金)
7. 会 場 八雲町公民館（二海郡八雲町末広町154番地 TEL：0137-63-3131）

8. 日程・内容

【第1日目】 9月18日(木)

- ◆受付 12:30-13:00
- ◆開会式 13:00-13:15 会場：八雲町公民館
- ◆研修会 13:15-16:00 会場：八雲町公民館
 - ①歴史分野技術研修「石器をつくる～たった一つの石器からはじまる総合的な学習～」
 - ②展示分野技術研修「文化財のデジタル記録とその活用」
- ◆総 会 16:10-17:30 会場：八雲町公民館
- ◆交流会 18:30-20:30

①歴史分野技術研修「石器をつくる～たった一つの石器からはじまる総合的な学習～」

- ◆講 師：宮本雅通 氏（今金町ピリカ旧石器文化館学芸員）
- ◆研修内容

畑で拾った1個の矢じり。これを弓矢として使うためには、石材はもとよりハンマー用の鹿角、弓・矢それぞれに適した木材、矢じりを矢に固定する天然の接着剤等、自然にある多様なものに目を向ける姿勢が必要となります。今回の研修では、実際の出土遺物と同じ材料に視点を置いた製作・使用体験を通して、歴史・自然史両分野にまたがる総合的な体験学習プログラムの手法を学びます。

なお、専門の学芸員を呼んで石器づくり体験を行う場合、運営支援のポイントについても言及しますので、様々な分野の方に参加頂き、議論を深めることができると考えています。

②展示分野技術研修「文化財のデジタル記録とその活用」

◆講師 師：川嶋稔夫氏・木村健一氏（公立ほこだて未来大学 教授）

◆コーディネーター：市立函館博物館学芸員

◆研修内容

タブレット端末やAV機器などが身近になり、こうしたデジタルデバイスを展示や普及活動で活用している館園が増えている傾向にあります。公立ほこだて未来大学と市立函館博物館はデジタル技術による文化財情報の記録と活用について検討を進めています。

本研修では、はじめに市立函館博物館の取り組みについて紹介します。その後、参加者から持ち寄られたデジタルデバイスの活用例について報告頂き、参加者相互の意見交換、ディスカッションを行います。また、デジタル活用の方法や技術的なアドバイスなどで講師の先生方に意見を頂く機会とします。

（この研修は事前に各会員の取り組みを報告頂くことから、申込み後、事務局から依頼連絡があります）

【第2日目】 9月19日(金) エクスカーション

集 合	9:00	八雲町公民館ロビー集合
見 学	9:05	木彫り熊資料館見学
	9:35	木彫り熊関連スポット（旧徳川農場事務所、熊の檻跡など）見学
解 散	11:05	木彫り熊資料館解散

9. 参加対象 北海道博物館協会 学芸職員部会会員、ほか当部会の主旨に賛同する者。

10. 参加料 1,000円（研修会資料代として）

11. 交流会 会 場：まるみ食堂（二海郡八雲町本町125 ※JR八雲駅を出て左手すぐ）
会 費：4,000円

12. 宿 泊 各自で手配願います。八雲町観光物産協会ホームページ（<http://www.yakumo-okanoeki.com>）の「泊まる」の項目で各宿泊施設の概要、料金を確認できます。
※あらかじめ、交流会場に近いビジネスホテルフレスコ八雲を本研修会用に確保しています（1泊素泊まり5,400円、朝食付6,200円）。こちらは8/20までに申込み願います。申込の際は「北海道博物館協会関係」である旨伝えて頂くとスムーズです。

フレスコ八雲（二海郡八雲町本町125番地、電話0137-62-2100）

※なお、各宿泊施設ともに駐車場の数が限られておりますので、八雲町公民館や八雲町郷土資料館の駐車場も利用できます。

13. 交通手段 JR八雲駅から八雲町公民館まで徒歩10分

14. 申込方法 別紙申込書で8月15日(金)までに下記宛、郵送、Fax、E-mailでお申し込み下さい。

八雲町郷土資料館 〒049-3112 二海郡八雲町末広町154番地

担 当：学芸員 大谷 茂之

☎0137-63-3131（内線231） / Fax 0137-64-3848

E-mail: s-oya@town.yakumo.lg.jp

平成26年度 北海道博物館協会 学芸職員部会 総会研修会
参加申込書・委任状

参加者氏名：

所 属： 職 名：

連絡先住所：〒 —

電話番号： Fax：

E-mail：

◆ 該当するところに○をつけてください。

	内 容	希望する	希望しない
18日	研修会（資料代1,000円）	①歴史分野技術 研修（石器） ②展示分野技術 研修（デジタル） ③どちらでも良い *いずれか選択して○	
	総 会		
	交流会（参加費4,000円）		
19日	エクスカージョン		

委 任 状

北海道博物館協会平成26年度総会の議決について、 氏（未記名の場合
は部会長）に、議決権を委任いたします。

学芸職員部会員 氏名 印

FAX送信先： 八雲町郷土資料館（担当 大谷） 0137-64-3848

E-mail： s-oya@town.yakumo.lg.jp

郵送先： 〒049-3112 二海郡八雲町末広町154番地 八雲町郷土資料館（担当 大谷）

切8月15日（金）